

京都府次世代等古典芸能普及促進公演

御香宮神能

ろうそく
蠟燭能



令和5年

9月23日(土・祝) 午後6時半開演
(午後5時45分開場)

伏見 御香宮
桃山

狂言

舟船

茂山 千五郎

能 鍾 尙

杉浦 豊彦

前売券

一般 3,000円
学生 2,000円

当日券

一般 3,500円
学生 2,500円

お申込み

御香宮社務所

Tel 075-611-0559

杉浦能楽会事務所

Tel/Fax 075-462-2665

京都府次世代等古典芸能普及促進公演

御香宮神能

修祓之儀

仕舞

玉鬘

船弁慶まり

狂言

舟船

大郎冠者 茂山千五郎

主人 松本 薫

火入之儀

ご挨拶 御香宮神社

三木善隆

能

旅人有松遼一

終南山麓ノ島田洋海

塚本和雄
浦田保浩

後見

地謡

樹下千慧
田茂井廣道

松井美樹
味方 團

附祝言

終了予定 八時過頃

主催

御香宮神社
御香宮神能会

後援

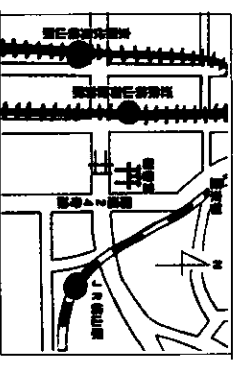
京都府
補佐 杉浦豊彦

於 御香宮能舞台
電話 〇七五一六一一〇五五九
午後六時半開演 (午後五時四十五分開場)

あらすじ
鍾馗

唐の終南山に住む男(ワキ旅人)が帝に謁見する為上洛する旅の途中、山中で不思議な男(シテ)に出会う。男は鍾馗の霊であると明かし、昔、悪鬼を滅ぼし国土を守る誓いを立てたので、そのことを帝に奏上してほしいと頼む。旅人が奏上を約束すると男は虚空に上り火災を放ち、奇瑞を示して消え失せるへ中へ旅人が詭経していると鍾馗の霊が地謡 塚本和雄 深野貴彦 誓ったと言い、王宮に落ち悪鬼を宝剣で退治し、治まる御代を祝福する。

中国 唐の時代の実在の人物とされる。科挙(官吏登用試験)を受けるが、大男で髭面であったことから試験に落ち、自ら命を絶つてしまう。それを哀れに思った唐の初代皇帝 高祖は鍾馗を手厚く葬った。そのうち玄宗皇帝の時代、病に臥す玄宗の夢に鍾馗が現れ、玄宗を悩ます小鬼を退治する。聞けば手厚く葬られた恩に報いる為、国土を守る誓いを立てたと言う。夢から覚めた玄宗の病は全快し、救ってくれた鍾馗を神として祀ることにした。この故事から鍾馗は魔よけや疫病よけの神として祀られるようになった。



*伏見終南山 御香宮へのアクセス
JR 近鉄 伏見 桃山 伏見 桃山 伏見 桃山 伏見 桃山
桃山駅下車西へ 300m
桃山駅下車東へ 300m
桃山駅下車東へ 400m